

事前打ち合わせ調査（つるぎ町の魅力を訪ねる）のご報告

総会 2018.3.3@別府大学において「研究集会@徳島県つるぎ町 2019」の企画を進めることが承認されています。その打ち合わせをかねて、「つるぎ町の魅力を訪ねる」調査に出かけてきました（2018年11月3（土）～4（日））。

魅力①：神戸三宮から車でわずか3時間

JR 三宮駅に集合し、渡部号で出発。参加者は、井上理事（副代表）、細川さん（事務局次長）、永井さん、三島さん（元龍谷大）と私の5名です。

17時半頃に出発し、「つるぎの宿 岩戸」（写真）に着いたのが20時半ころでした。お肉と山菜のお鍋、あまめの塩焼き、刺身こんにゃく、天ぷらなど食べきれないほどの夕食（もちろん地元の清酒も）をとりながら、事前相談を行いました。岩戸温泉は溪流に面したとても静かなところ。 <http://www.town.tokushima-tsurugi.lg.jp/>



魅力②：巨樹・巨木のある町

つるぎ町は「巨樹・巨木」で有名です。つるぎ町教育委員会の古林次長さんの案内で、さっそく国指定天然記念物「赤羽根大師のエノキ」（写真）を見学しました。地上高1.3mの幹回りが682cm、樹高16m、枝張りが東西18m、南北16mにも及びます。「巨木を語ろう全国フォーラム」等が開催されているそうです。



魅力③：傾斜地で暮らす人々

湧き水のある尾根道から降りた場所に集落ができ、発展した歴史があるそうで、傾斜地をもろともせず人々が暮らしています。勝手に命名させていただいた「天空の民家」（写真）にはジグザクの小径や、農耕用のモノレールで上り降りするとのこと…。子育てや高齢者ケアがどのように営まれているのか、知りたくなりました。この傾斜地を活かした「傾斜地農耕」が2018年に世界農業遺産に登録されました。 <http://www.town.tokushima-tsurugi.lg.jp/docs/294781.html> そこには、何世代にもわたる地域での農業技法の開発、文化の伝承、大学にも負けない深い学びがあります。



魅力④：収穫の里、紅葉の剣山

規約第3条に「研究集会（秋季）」とあることから、時期は「2019年秋」を予定しています。今回訪ねた11月上旬では、稲刈りが終わった里の紅葉はまだでしたが、剣山はすでに見ごろを過ぎ、落葉が始まっていました。登山口



から 2km のところにある「ラ・フォーレ つるぎ山」(集合写真)
にて休憩&昼食タイムです。<http://www.laforet-t.com/>

ここで、打ち合わせ。ワイワイと話が弾み、アイデアが色々
と沸き、方向性も見えてきました。

魅力⑤：パワースポット（天磐戸）もありますよ～！

最後に訪ねたのが、「天磐戸」（写真：上方に見える巨大な神
楽岩をめざす一行）です。「邪馬台国＝阿波の国？」という説も
あるそうで、巨木鬱蒼たる原始神木の茂る他所以上にミステリ
アスなパワースポットでした。



以上、つるぎ町の魅力が少しでもお伝えできたとしたら幸いです。（文責・渡部）